

●新発田事務所
〒957-0016 新潟県新発田市豊町3-2-8
TEL. 0254-21-0700 FAX. 0254-21-0707

●村上事務所
〒958-0857 新潟県村上市飯野1-7-6
TEL. 0254-50-1755 FAX. 0254-50-1756

E-mail : kuroiwa-11@prontnet.ne.jp
ホームページ: <http://www.t-kuroiwa.jp>

携帯ホームページ ……→



まつりごと 黒岩 政 通信

「黒岩たかひろ応援団」会報

第13号
2014年7月10日発行

長男「一馬」誕生！ 二人の重みが ずしりと肩に

復活を誓う！



黒岩たかひろ応援団の皆様には日頃のご支援に心から感謝し、そのお気持ちに応えるために日々地元活動に全力を注いでおります。

4月28日に長男が誕生致しました。2歳になる長女継未に次ぐ第2子の誕生です。3870gとそれはそれは大きな赤ちゃんで、母子ともに健康であります。うま年生まれの長男という事で「一馬」と命名致しました。

「落選中なのに一人目なんて良く大丈夫だな」とのご心配も頂きます。確かに安定した収入もない中での子育ては一人でも大変であるのに、二人ですとその重みは私の肩にズシリと2倍重くのしかかって参ります。家を一歩出れば「天下国家」を語るのが私の仕事ではあります。家に一歩戻れば強い父親であり良き夫でありたいです。やせ我慢であろうと歯を食いしばって頑張るのみであります。応援団の皆様より一層のご支援を心からお願ひ申し上げます。

さて、政局は風雲急を告げて参りました。野党の分裂騒動と安倍政権の改憲解釈への前のめり姿勢が特に顕著となっております。中央やマスコミではまことしやかに来年秋までには解散総選挙かと囁かれ出しました。その理由として来年秋の10%消費増税と自民党総裁選前に、且つ野党再編が間に合わない内に安倍総理が選挙で勝利し体制を盤石にする。また、来年通常国会で集団的自衛権の個別法がもめれば国民に信を問う事が挙げられています。どれも相応の信ぴょう性を含んでいますから侮れません。

どんな状況でも次回こそは国会に戻る。復活を誓い地道な活動を続けて参ります。

前衆議院議員

黒岩 宇洋





1 強倒すにゃ徒党を組め

今年に入り共同通信社配信のある記事が目にとまりました。そこには「民主党支持率12年振りに2%台へ」。2002年の1月以来実に12年振りに民主党の支持率が2%台にまで落ち込んだという記事です。さて2002年1月とはいつか。実は私の最初の選挙、02年参院新潟補選で私が出馬表明した時期です。当時の小泉政権の支持率は90%近く。野党は民主党、社民党、自由党、無所属の会、緑の会議と乱立しバラバラで戦ったのではとても自民党政権には勝てない状況でした。

私はこれら野党全てから推薦をもらい無所属で立候補。結果的に自民党候補との戦いに勝利したのです。全野党の支持率を合計しても自民党にははるかに及びません。しかし、複数候補が出たのでは勝負にならない事も火を見るより明らか。多くの市民団体をも柱にした総力戦はその後「新潟方式」と呼ばれました。極端に言えば「徒党を組め」という選挙だったのです。もちろん、政策的にすり合せ自身は「徒党」を乗り越えていたのは言うまでもありません。

まずは統一会派を

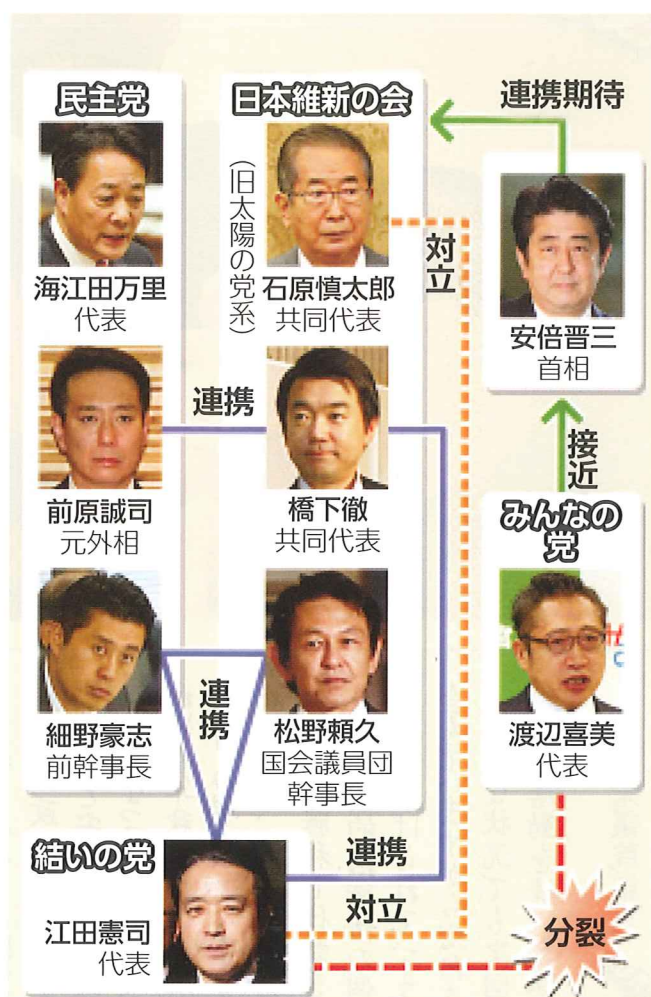
私見であります。まずは民主党を中心に維新の会や結いの党など多くの野党と国会での統一会派を組むべきと考えます。「統一会派」とは「党」とは違い、国会での活動において歩調を合わせる「仲良し集団」以上「政党」未満の政治的な塊と考えればいいでしょう。

統一会派構想のメリットは二つ。まずは民主党が分裂するのではなく丸ごと結束して事にあたる事。大団円を組むのが目的なのにその前に分裂していたのでは話になりません。

次に「寄せ集め」「数合わせ」の批判を免れるという事です。統一会派で1国会でも経験すれば、100本近い法案を会派内で議論する事となりこのプロ

セスで政策や方向性が集約されるでしょう。また、安全保障やエネルギー政策という重要テーマについて考えてみましょう。民主、維新、結いの間では「護憲」にこだわりませんし「自主憲法制定」とう方向性ありません。ある程度の枠に収まるはずで民主党単独よりも広がった割に統一感が出てくると思います。原発については3党とも「脱原発」を謳っている訳ですから、これも広がってより統一感が出てくるのではないのでしょうか。

野党再編をめぐる相関図



代表の決意

海江田代表に求めるのはこの構想を大きく早く現実のものにして頂く事です。マスコミの言う民主党の「再建」か「再編」かの二者択一ではなく、「再建」も「再編」も二兎追うものが二兎を得る高度な政治選択を期待しています。

議論ははなから複雑に

今春になり急激に集団的自衛権の解釈改憲について議論が本格化し出しました。安倍総理の悲願と言えます。

早速新聞各紙が世論調査を実施。結果はどの新聞も解釈改憲については「反対」が多数。政府、ないしは推進派のマスコミはこれではまずいと思ったのか過去の政府解釈など様々な論点を持ち出してきました。反対派もただ反対と言っているだけでは太刀打ちできない状況になってきました。

論点の一つ。反対派が唱える「憲法の解釈をその時の内閣が変えてはならない」という主張があります。解釈改憲は立憲主義に反するという立場です。これは説得力に欠けます。昭和21年、吉田茂総理は憲法9条の解釈として「個別的自衛権」すら否定しました。しかし、その後この解釈を変更し個別的自衛権を認め自衛隊の存在を肯定したことから「解釈改憲」の前例はある訳です。ただこの反論に対する反論としては当時の日本は主権国家ではなく憲法も草創期という事で解釈自体が脆弱であった事。一方、「集団的自衛権は有すれど行使できず」という政府解釈は30年以上の法的安定性を有すると主張する事ができます。議論は入口から複雑化していきました。

国民を煙に巻け

(図表1) 政府が与党協議に示す15事例

3分野	15 事例
ソグ リー ン	① 離島における不法行為への対処
	② 公海上で訓練や警戒監視中の自衛隊が遭遇した不法行為への対処
	③ 弾道ミサイル発射警戒時の米艦防護（※平時）
国際 協力	④ 侵略行為に対抗するための国際協力としての支援
	⑤ 駆けつけ警護
	⑥ 任務遂行のための武器使用
	⑦ 領域国の同意に基づく邦人救出
「武力の行使に あたり得る 活動 集団的自衛権 関連」	⑧ 邦人輸送中の米輸送艦の防護
	⑨ 武力攻撃を受けている米艦防護
	⑩ 強制的な停船検査
	⑪ 米国に向け我が国上空を横切る弾道ミサイル迎撃
	⑫ 弾道ミサイル発射警戒時の米艦防護（※周辺有事）
	⑬ 米本土が武力攻撃を受け我が国近隣で作戦を行う時の米艦防護
	⑭ 国際的な機雷掃海活動への参加
	⑮ 民間船舶の国際共同護衛活動への参加

複雑議論に更に追い打ちをかけたのが「個別15事例」です。政府から自民党、公明党による与党協議に向け検討材料として示されました(図表1)。

私としては個別の事例ごとに検証する事には賛成でした。多くが個別的自衛権の範疇であったり集団的自衛権の行使が現実的でない事などが判明すると考えたからです。現に集団的自衛権の行使に当たり得る⑧邦人輸送中の米輸送艦の防護は現実にはあり得な

い事例と元防衛省幹部が断言しましたし、⑭国際機雷掃海活動は戦闘中においては防御機能を持たない我が国の掃海艇では不可能との事です。

1つ目の事例から公明党から異論が噴出し協議の回数は増え、そのたびに新聞各紙は大きく紙面を割き細かな論点の検証を始めました。これが連日ですから中々多くの国民がこの議論についていく事は困難です。うがった見方をすれば国民を複雑怪奇な煙に巻く事が政府の戦略そのものだったのかも知れません。

おっと出てきた簡単メモが

与党協議会もかなり疲れ果ててきたところ個別事例議論の途中にも関わらず簡単な1枚のメモが高村自民党副総裁から提出されました。「たたき台」と示されたそのメモには集団的自衛権発動に関する新たな3要件が記載。3要件と言っても2番目の「必要性」と3番目の「妥当性」については現在の個別的自衛権の発動要件とほぼ同じ。ただ1番目の要件に「我が国に対する武力攻撃」の次に「密接な関係にある他国に対する武力攻撃が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命、自由及び幸福追求権が根底から覆される明白な危険があること」の一文が追加されました。ポイントは後段で「限定」を加えているように見せかけ最後を「明白な危険」で締めくくっている点です。「危険」とはいまだ事態は発生せず、その判断に幅広い余地が残るというもの。公明党案の「覆される窮迫、不正の事態」という文言とは雲泥の違いがあります。即ちすでに起こった事態ではなく未来の可能性でも集団的自衛権が行使できるのです。

個別法では丁寧に

ついに集団的自衛権行使についての閣議決定がなされました。今後は次期国会で自衛隊法改正など閣議決定に沿った個別法の整備が図られていく事になりますが、再度、様々な個別事例を具体的に解きほぐしていく事が重要でしょう。

その時の考え方として①緊迫した事例があるか否か、そしてそれはどのような事例なのか②それが集団的自衛権に該当するのか③個別法に落とし込む必要性があるのかと手順を追って頂きたいと思います。閣議決定がなされたからと言って無限定に集団的自衛権が行使され得るようでは安倍総理すら否定する地球の裏側での戦闘行為に自衛隊を始めとする我が国国民が巻き込まれてしまう可能性が広がるのです。断じてそのような事がないように丁寧な国会審議を期待するばかりです。

拉致問題は風化せず

5月31日の読売新聞1面の編集手帳(写真)に載った「ある議員」とは私の事です。29日、北朝鮮が拉致全面調査を約束。このニュースに関連し私の12年前の国会質問が取り上げられました。

12年前の9月、拉致を北朝鮮が認めた直後の参院内閣委員会で私は当時拉致担当大臣である福田康夫官房長官に食って掛かっておりました。「拉致被害者『13人中8人死亡』などあり得るはずがない」と。その根拠は日本における死亡確率です。例えば横田めぐみさんの場合、めぐみさんが拉致された昭和51年当時の13歳人口とめぐみさんが死亡されたとされる平成元年当時の26歳人口を比べます。1%減少していれば死亡確率を1%とみなし、他の被害者も同様にその確立を求めて得た数字が「100京分の22」。科学的に「あり得ない」という結論に至るのです。

さて、再調査には様々な困難も伴う事でしょう。しかし、あり得ない結果の裏返しは必ずや生存者がいるはずという事。何としても生存者が生きて日本に帰るまでが再調査の意義。この点を厳しく北朝鮮に突き付けていくしかありません。

私、野党時代は鋭く政府に「質問」という太刀を浴びせておりました。特に拉致問題に関しては誰よりも質問に立ったのではないかと思います。一日も早く国会に戻り真剣勝負を挑みたいものです。

編集手帳

万、億、兆につづく数の位を「京」という。いまから12年前の参院内閣委員会で、ある議員が「100京分の22」という数字を示したことがある。0・0000000000000000000022%である◆拉致被害者の年齢をもとに、拉致されずに日本国内で生活したと仮定した上で、北朝鮮の主張する「拉致した13人のうち8人が死亡」する確率を国勢調査などから割り出したという。死亡したと言われ誰が信じるか◆北朝鮮が拉致被害者の安否などについて全面的な再調査を約束した。重い扉が、ようやく少し動き出すことになる◆拉致監禁をもちつた△拉致換金▽や一獲千金をもちつた△一核千金▽の創作熟語が生まれたくらいに油断のならない相手である。だまされることなく、核開発をめぐる米韓両国との協力を損なうことなく、いかにしてすべての拉致被害者を取り返すか。安倍外交の腕前が試される◆△拉致の「拉」が／怒り、哀しむ瞳の中で／「泣」とかすんだ目を忘れない▽（橋本利光）。文字をかすませる涙は今度こそ、怒りや哀しみではなく、うれし泣きの、もらい泣きの涙でなくてはならない。

2014. 5.31

大事にしなけりゃ農業を

安倍政権が誕生して最も割を食っているのが農家ではないでしょうか。民主党政権時代の農家戸別所得補償はあれほど農家から評価を受けていましたが、あっさりとその補助金額を半減しました。また、衆議院選挙時にあれ程「断固反対」を訴え農業票を集めたTPPでもその約束を反故にし農業主要五項目でも大幅な関税削減を事実上約束しています。

そして直近では農業改革と称する農協潰し。改革は必要ですが、お世話になった団体に対し恩をあたで返すその手法は小泉流の郵政潰しを想起させます。

農業改革を特集した地元新聞に私の発言が取り上げられています(写真)。農業は国の成長戦略の柱になり得る重要課題であり、新潟3区の生命線です。今後も農業地域の実情に合わせた農業改革を志向して参ります。



民主 意見書提出を検討

自民党以外では、民主党 証が必要だ。少なくとも地 方が県議会6月定例会に、急 域や農業者の声をもう少し 改革をけん制する意見書 聞きながら議論していくべ 提出することを検討して きてはないか」と話す。独 いる。社民、共産両党は今 自の意見書は自民党の反対 回の農業改革に反対してお て否決される可能性が高い が、急速な変更は地域に混 り、環太平洋連携協定(T ipp)の動向などを見極め ことで、県の要望に反映さ 乱を招く(小山芳元代表) ながら今後の戦略を練って せられるはずだ」と語る。 いる段階だ。 7日の民主党県連常任幹 民 渡土百夫委員長は「TPP 民主党の市川政広県議団 事 会では、黒岩宇洋前衆院 長は「農業改革が農家にと 議員が「農協改革と所得補 討中。共産党県委員会の極 討してセツトで農業を守る 闘いを進めたい」としてい 償の大幅減で農家は怒って いる。民主党が受け皿にな らないといけない」と呼び 掛けた。来春の統一地方選 に向け、戸別所得補償制度 など同党の農業政策を訴え る考えだ。

黒岩たかひろ活動記



諏訪神社前での新年挨拶



胎内後援会新年会



市島酒造にて茶会お運び



幹事総会に玄葉前外務大臣応援に



新発田宇の花会お花見



黒岩フレンドリーカップ表彰式

- 1月1日 諏訪神社での新年挨拶行動
- 1月6日 新潟労協協名刺交換会
- 1月9日 UAゼンセン旗開き
- 1月12日 城下町新発田全国雑煮合戦出店
- 1月14日 胎内市住吉町新年会
- 1月17日 新潟県行政書士会賀詞交歓会
- 1月18日 新高教新春の集い、JP労組新春の集い
- 1月19日 佐藤医院・回生会新年会
- 1月22日 部落解放同盟住吉支部旗開き
- 1月24日 豊町1・2丁目新年会
- 1月25日 胎内後援会新年会
- 1月26日 連合胎内支部定期総会
- 2月5日 聖籠後援会新年会、村上宇の花会新年会
- 2月6日 部落解放同盟県連合会結成30周年式典
- 2月9日 豊町後援会&ボランティア新年会
- 2月14日 連合下越地協新発田支部旗開き
- 2月16日 新発田城南ロータリークラブでの卓話
- 2月21日 民主党大会
- 2月22日 連合五泉支部定期大会
- 2月23日 阿賀町後援会新年会
- 2月27日 馬淵選対委員長来所
- 3月2日 村上地区後援会新年会
- 3月15日 浩友会総会
- 3月16日 連合村上支部定期大会
- 3月24日 理心館創立21周年記念式典、市島酒造「雑の茶会」
- 4月4日 後援会幹事総会、玄葉代議士応援に
- 4月11日 民主党新潟県連定期大会
- 4月16日 戸籍謄本等不正取得防止本人通知制度胎内市集会
- 4月19日 山北地区ミニ集会
- 4月20日 佐藤泰治新後援会長就任祝い
- 4月23日 新発田市新富町地区ミニ集会、佐藤ひろお県議女性の会
- 4月27日 新発田ボランティア花見会、南まゆみ市議市政報告会
- 4月28日 クラレOB会新潟支部総会
- 5月1日 連合胎内地区メーデー
- 5月6日 連合阿賀野地区メーデー
- 5月11日 長男誕生
- 6月7日 新発田地区メーデー、五泉地区メーデー
- 6月8日 村上宇の花会花見会
- 6月13日 黒岩たかひろフレンドリーカップ表彰式、部落解放同盟県連定期大会
- 6月15日 民主党県連常任幹事会
- 6月21日 新潟県ジュニア空手大会、五十公野良寛茶会
- 6月22日 新潟市北区県議選 長谷川優氏記者会見
- 6月26日 立正佼成会新発田教会発足58周年記念式典
- 6月29~30日 民主県連・連合新潟定期協議
- 第5回後援会バス旅行



雑煮合戦に出店



ボランティア新年会



新発田城南ロータリーでの卓話講師



理心館創立21周年記念式典



村上宇の花会お花見



県議選長谷川予定候補出馬会見

ごく一部しかご紹介できませんが、日々の活動は黒岩たかひろのホームページでご覧下さい。

本人が活動日記を更新しています!

<http://www.t-kuroiwa.jp>

携帯はこちらから>



現況をプレス民主に語る



私が「プレス民主」全国版に現在の思いを記した記事が掲載されました。民主党に対するふがいない思いも含め端的につづった手記をご覧頂きたいと思います。

本質よりも直感的に

個人的には落選し党としては下野し、1年半が経とうとしています。早いものですね。私の選挙区新潟3区は海あり山あり広大な山漁村風景が広がりますが、地道に地域を歩いております。

「有権者の声を身近に聞く」というのは現職時も努めていましたが、自分の支持者ではない、または直接の関係がない方の話を聞く機会は現在の方が多いでしょう。自分の集会に来た方ではなく、こちらから参加した会合での出会いは新鮮です。何せ相手は驚くほど政治に関心がありませんから。私は何党か分からない、私が現職か否かも分からない、こういった方たちの政治感覚に接する事は貴重だと痛感しています。

上記のような方たちは投票に行かない人も含め巷には多数存在します。そして大半は政治が好きではない、もちろん民主党も相当において好きではありません。何故そうなのかを丁寧に窺い知ると「政治は胡散臭いものだ」と考えているからです。彼ら彼女らが恐る恐る発する質問の中に決まって「政治家はさぞかし儲けているんだろう」ニュアンスの質問が含まれる事からわかります。

しかし、09年総選挙では彼ら彼女らの圧倒的支

持を得て民主党は勝利しました。民主党なら胡散臭さを吹き飛ばしてくれると国民が期待したからです。その象徴が「天下りの禁止」「企業・団体献金の禁止」「世襲禁止」というそれまでの政治文化を覆す民主党の姿勢でした。こんなに格好良い民主党なら必ずや既得権を打破し利権政治をぶっ壊してくれると有権者の多くが胸を躍らせたのです。

国民は「政治は力があれば良い思いをしても、いや少し位悪さしたって」と甘くゆるく囁きながら、いざ選挙になるとそれらを圧倒的に凌駕するほど「格好良さ」を求めます。しがらみなき清々しさと言っても良いでしょう。国民誰も政治の本質論を吟味する時間的余裕がある訳ではなく、多くは直感で物ごとを察知します。そしてこの直感力とは大変鋭くまた真実に迫る代物なのです。民主党がこの鋭き代物に答えるには綱領にある既得権や癒着構造と闘う姿勢を具現化する事にのみ邁進する必要があります。

選挙に落ちて理想・理念だけを謳っても引かれ者の小唄。地域にこの民主党の想いを姿かたちで示していく事が私の、そして公認内定者の使命であると肝に銘じております。



「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的として設立された会員組織です。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させて頂いております。

また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせて頂いております。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

【年会費】 年額 1口 5,000円より

【お振込先】

郵便局：口座番号 00580-5-74715
口座名義 「黒岩たかひろ応援団」
銀行：第四銀行 新発田支店
口座番号 (普)2150812
口座名義 「黒岩たかひろ応援団」



ご協力を
お願いします!

ミニ集会の開催

ミニ集會を開催しませんか?お呼び頂ければ、いつでも、どこへでも黒岩が伺って政治について語ります。質問もドンドン受け付けます。少人数でも大歓迎。お気軽に黒岩事務所までご連絡ください。

後援会報の配布

黒岩の活動報告(後援会報)を配布頂ける方を募っております。基本的に投げ入れの形で行っています。5軒でも10軒でもご近所に配っていただける方、黒岩事務所までご一報をお願い致します!

カンパに
ご協力を!

応援団会費年額5,000円以外にも、随時カンパを受け付けております。ご協力頂ける方は、下記までお振込み下さい。

【お振込先】

郵便局：口座番号 00550-4-74787 「黒岩宇洋と歩む会」
銀行：第四銀行/新南潟支店(普)1769845 「黒岩たかひろと歩む会」

FAX通信

毎週月曜日に黒岩自身が毎日更新しているブログから、選りすぐって2日分ダイジェストでFAX通信としてお送りしています。自宅でインターネットの環境がない方、ドンドン黒岩事務所までお申し込み下さい! 申し込みFAX番号 0254-21-0707